



# 奈良県感染症情報

令和5年 第30週(7月24日～7月30日)

奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

<https://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

新型コロナウイルス  
感染症増加中!

## 今週の概要

- 新型コロナウイルスの特徴を踏まえた自主的な感染対策を心がけましょう
- 小児科外来情報

## ◆定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患)◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	新型コロナウイルス感染症	16.89	(14.71)	↑	↑	↑	→
2	A群溶連菌咽頭炎	3.12	(2.15)	→	→	↗	↑
3	感染性胃腸炎	2.85	(2.74)	↘	→	↘	↓
4	RSウイルス感染症	1.50	(1.97)	↘	↘	↘	↓
5	ヘルパンギーナ	1.41	(1.76)	↓	↓	↓	↓

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)  
 増減: 過去5週間平均数と比べたときの变化 **↑↑急増**、**↑増加**、**↗やや増加**、**→横ばい**、**↘やや減少**、**↓減少**

## ◆県内概況◆

新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数は16.89で、依然として増加が続いています。特に中和保健所管内西部地域は27.80で、他の地域と比べて報告数が多いです。

A群溶連菌咽頭炎(A群溶血性レンサ球菌咽頭炎)の報告数は第29週に一旦減りましたが、今週増加しました。中和保健所管内西部地域で多い状況が続いています。引き続き注意が必要です。

## ◆新型コロナウイルスの特徴を踏まえた自主的な感染対策を心がけましょう◆

**「換気、消毒、距離、必要な場面でのマスクの着用」が**

**3つの感染経路(エアロゾル、飛沫、接触)の遮断に有効です。**

## ❖小児科外来情報❖

### 北部地区(田中小児科医院)

家族内感染にはCOVID-19感染症、インフルエンザ、ヒトメタニューモウイルス感染症があった。溶連菌感染症、アデノウイルス感染症、RSウイルス感染症など、様々な感染症が流行している。迅速検査キットの進歩もあると思いますが、このような状況を経験した記憶はない。

### 中部地区(岡本内科こどもクリニック)

種々の感染症で外来数は多い。

特に頻回の咳嗽の例が多くhMP陽性例、幼児のRS例もある。

COVID-19陽性例が増加。軽症で接触など思い当たらず保護者が結果に驚く例も多い。家族内感染もみられ、やはり感染力はそれなり強いと思われる。母から感染の生後14日、40日の別家族2新生児例もあった。初診時は微熱のみで重症経過ではなかった。

インフルエンザA型も増加中。A群溶血性連鎖球菌も流行。

感染性腸炎も流行、発熱、水様下痢で嘔吐は少ない例が多い。

### 南部地区(南奈良総合医療センター小児科)

COVID-19感染症の増加が続いている。大部分が接触歴のない陽性例であり、感染未確認が多いと思われる。小児では軽症で経過している。

ヘルパンギーナの流行も続いている。ヒトメタニューモウイルス感染やRSウイルス感染も多い。

下痢の遷延するウイルス性腸炎も流行している。軽症に経過しているが、カンピロバクター陽性者も散見される。

次回週報は令和5年8月10日(木)に発行します



◆注目疾患の動向◆ 全て定点当たり報告数

